



高知のよりよい明日を目指すキャンペーン

優しい社会へ

◎企画制作／高知新聞社広告局・高知広告センター ◎制作協力／高知県地域福祉部高齢者福祉課

県内一の認知症サポーター率 住民主体で支え合う土佐町

認知症を正しく理解して見守る応援者、それが「認知症サポーター」。県内でも着実に増加し、平成24年には1万人台だったサポーター数は今や4万8千人以上に。人口における市町村別のサポーター率を見ると、ナンバーワンとなったのは23.8%の土佐町でした。市町村の平均が6.6%という中、ここまで高い理由はなぜなのか。土佐町の取り組みを追ってみました。

10年以上の積み重ねと 小さな町だからこそできたサポート体制

北村和喜さん(右)
(土佐町地域包括支援センター所長・保健師)

山首尚子さん(左)
(土佐町社会福祉協議会事務局長)

町全体で支え合う 取り組みを続けて



高 齢化率43%、人口合計が4千人を切った町民のうち、4人に1人が認知症サポーターという土佐町。サポーター率県内一という状況について、同町包括支援センターの北村さんは「認知症をはじめ、介護予防や生きがいづくりなど、地域で支え合う取り組みを10年以上、町全体で協力し合ってきた結果かもしれません」と話します。

そのベースとなっているのが、人口減少と高齢化の対策として平成16年から始めた「土佐町フィールド医学」という取り組み。高齢者が元気で生き生きと、自分らしく自立した生活を送る町づくりを目指し、保健、福祉、医療の連携を進めてきたそうです。



昔のことを思い出し語り合う
回想療法

「フィールド医学では、転倒予防の体操や昔のことを語り合っただけで認知機能を維持する回想療法などを行った結果、歩行能力、注意力などが改善されました。また、平成22年には平均寿命が女性は県内で1位、男性は3位になったんです」と北村さん。それも住民の理解と協力があってこそできたといいます。

課題解決にもつながった サポーター養成講座

住

民が主体となつて高齢者や障害者、子どもたちが集う場をつくったり、介護予防や健康づくりなどで共に支え合う雰囲気が高まってきた中、平成21年には国の「認知症地域支援体制構築等推進事業」のモデル地域に挙手。これに併せ介護保険事業所や医療機関、民生委員などで町独自の地域支援体制をつくり、月に2、3回の研修を実施。認知症サポーター養成講座も組み込んでいったといいます。



子どもから大人まで
住民が演奏や歌で楽しんだ「コンサート&おもてなし 相川ららら」



「コンパクトな町だからこそ、住民の声が細かく拾える関係が築け、ここまで来られたのだと思います。それまで『自分に関係ない』と福祉イベントに来なかった人が手伝ってくれるようになったり、地域が変わるんだと実感しています」と山首さん。豊かな自然環境のもと、住民同士が助け合い、絆を深めていることも魅力となっているという土佐町。そこかしこに、生き生きとした活気があふれていました。

垣根を越えた助け合いで 活気あふれる町に

早

くから住民が自発的に地域のことを考え、積極的に活動していたという土佐町では、住民と行政の垣根を越えた活動も盛んです。例えば「地域福祉活動計画」は10カ所ある旧小学校区の住民同士が力を合わせ、子どもから大人までが一緒になって清掃や祭り、コンサートなどの活動を行い、交流を深める取り組み。また、それぞれの地域の課題を、そこに住む行政職員たちと一般住民が一緒に解決する話し合いの場もできました。



福祉イベントでは
寸劇で認知症の
理解を上げました



「福祉や医療の専門職による横のつながりも生まれ、住み慣れた地域で高齢者を切れ目なく支援することの必要性を実感し、認知症も含め、地域全体で見守ることへの理解がぐっと深まってきました」と同町社会福祉協議会の山首さん。その理解を住民にも広げようと一般向けの養成講座も開催。町内のJAや郵便局、学校からも依頼を受けて開催したり、地域の隅々へと浸透。こうしてサポーター率は高まり、今では何度も受講するリピーターも多そうです。

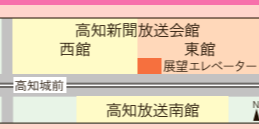


さらなる増員を
目指して!!

平成29年9月30日現在で
48,634人
(県内のサポーター数)

地域で温かく見守る サポーターになろう 認知症サポーター養成講座

■日時／平成29年12月19日(火) 午前10時～11時30分
■場所／高知新聞放送会館 東館8階 階段会議室
※ 電車通り側の東側玄関より展望エレベーターをご利用ください。



■お問い合わせ・申込先
高知県高齢者福祉課 TEL 088-823-9627
※ 11月27日(月)より受け付け開始。定員に達し次第締め切りますのでお早めにお申し込みください。



定員80人
受講無料



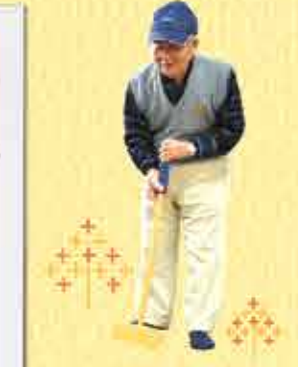
オレンジリングは、
認知症サポーターの
目印です!!

「サポーターになろう!」



「優しい社会」紙面への「意見、ご感想は…」
〒700-8522 高知本町局私書箱70号「優しい社会」係まで。
下記ホームページでも付けています。
次回以降平成30年1月28日付朝刊の予定です。

～わがまのボラン



とんからりんの家

